

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価書

令和3年3月12日  
認定こども園すずき幼稚園

## 1 幼稚園の教育目標

「自立できる人・たくましい生命力のある人・人に親切にできる人」を目指す人間像として、立腰教育や躰の三原則を基盤に置いた生活習慣を徹底する。又、幼児の持つ可能性をあらゆる場面で発揮できるよう、言語活動や音楽、運動にも力を入れた総合的な遊びを展開する。

## 2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、諸行事の中止または開催要領の変更等に柔軟に対応し、教育目標の達成と感染症対策のバランスを図る。

## 3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1 保育の計画性	B	年度当初の計画がコロナの影響もあり、中止等の結果となったものもあったため、先を見据えた計画ができなかったようにも評価できる。しかし、安に中止とするのではなく、開催要領を工夫した面もある。	A
2 保育のあり方 幼児への対応	A	コロナ禍においても園児の能力向上は目標を達成できたと思う。停滞した時期を取り戻すように保育者と園児が園生活を楽しく過ごせた。	A
3 教師としての資質、 能力、良識、適正	A	内外からの評価はコロナ禍であっても衰えておらず、保育者一人一人の資質は高い水準を保っている。	A
4 保護者への対応	A	卒業生の保護者からも「本当にこの園でよかった」との声をたくさん頂き、対応に関しての評価が高かったと認識できる。	A
5 地域の自然や社会と のかかわり	C	平素であれば実施できていた課外活動がコロナの影響でできなかったものが多かった。その中でも自然体験は極力実施し、密にならない工夫をしながら楽しめた。	B
6 研修と研究	A	平素であれば出かけられる研修が多々中止になったが、オンラインでの研修に積極的に参加したため、例年よりもたくさんの研修に参加することができた。普段、充分とれない時間が確保でき、個々の研鑽ができた。	A
7 外部アンケート	A	コロナ禍においても工夫をして保育活動を実施できていたので、外部からの評価は高	A

\* 結果の表示方法  
 A 十分達成されている。  
 B 達成されている  
 C 取り組まれているが、成果が十分でない  
 D 取り組みが不十分である

## 4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

前年度の反省とコロナによる活動自粛が寄与し、例年よりのんびりした生活となった。保育者も自己研鑽の時間が多くとれたことで余裕が生まれ、子どもに向き合う気持ちにおおらかさが見られた。カリキュラムによる目標設定も例年を下回る事はなかったが、コロナ禍であっても達成できたことに満足している。

## 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	コロナが再度蔓延しても保護者が我が子の成長を見られるような行事や普段の保育を計画していきたい。
地域の自然や社会とのかかわり	コロナ収束を見据えて活動計画を再考していく必要がある。

## 6 学校関係者評価委員会からのコメント

コロナ禍であっても目標設定を高く持ち、それを達成しつつコロナ対策もしっかりと実施できている点において評価に値する。コロナを言い訳にしない保育の姿勢は、内外からの評価が高い要因と認識している。